



HPはこちら

「ワンマン運転の拡大について」 会社提案を受ける

東日本ユニオンは7月24日、経営側より「ワンマン運転の拡大について」の提案を団体交渉で受けました。

<実施内容（案）>

- (1) 路線や駅等の特徴を踏まえ、必要な技術・設備を導入し、線区・区間を限定せずにワンマン運転を実施する。
- (2) 具体的には3～6両編成（これを「中編成」とする）と7両以上の編成（これを「長編成」とする）に分け、それぞれの線区・区間やお客さまのご利用状況にあわせてワンマン運転に必要な設備を整備した上で実施する。
- (3) 1～2両編成（これを「短編成」とする列車のワンマン運転については、従前と同様に必要な設備を整備した上で拡大していく。

<実施日（案）>

令和2年3月

【団体交渉における経営側の主な説明】（要旨）

- ◆新幹線、特急列車を含むJR東日本全路線を対象とする。
- ◆線区・区間のほか、時間帯も限定せず、終日行うことを基本とする。
- ◆設備故障時や異常時などの対応は「検討中」である。
- ◆「Suica 簡易改札機」「現金を入れる集札箱」などの整備は、その都度検討していく。
- ◆令和2年3月以降、各支社の中で決まった段階で実施していく。

私たち東日本ユニオンは系統を越え

- 安全の確保
- サービス品質の維持・向上
- 経営側が「検討中」としている内容
- 設備故障時、異常時の対応
- 車内の治安維持、車内秩序の維持
- 営業部門における業務量の変化

など、幅広い視点から本施策に対する議論を開始しました！

意見や疑問を東日本ユニオンにお寄せ下さい！